

昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校

中学入試

住所 〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57 電話 03-3411-5115 FAX 03-3411-5532
 URL <https://jhs.swu.ac.jp/> facebook <https://www.facebook.com/showajhs>
 帰国生受け入れ開始年度 2018年度
 2019年度帰国生在籍数 中学1年:10人 中学2年:8人 中学3年:8人 高校1年:8人 高校2年:10人 高校3年:10人
 帰国生のための部署/担当 入試広報部/入試広報部長 杉村真一朗 先生

帰国生入試について					
出願資格・条件	海外在住1年以上・帰国後3年以内				
過去3カ年の応募状況		出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	2019年	16	16	15	4
	2018年	15	15	13	2
帰国生の編入試験について					
出願資格・条件	海外・国内(首都圏以外)からの帰国・転居など				
出願書類	海外在留証明書				
実施時期	随時実施				
帰国生に対する配慮					
<p>一般生と同じです。異なる文化で育った生徒たちが、同じクラスで生活することにより、お互いを認め合い、学びあう姿勢を育むことが大切であると考えています。数学・英語は習熟度別に3分割少人数授業を展開しています。放課後の補習授業や個別指導などの体制は十分に整っていますので安心してください。</p>					
帰国生への学習指導					
<p>一般生と同じです。「本科コース」では習熟度別に3分割少人数授業を展開しています。「グローバル留学コース」には英語力のレベルが様々な生徒が混在していますが、ネイティブスピーカーの授業が多く、生徒の意識も高いので、誰もが最高の力を発揮しています。英検2級以上を取得している生徒は取り出し授業を実施しています。</p>					
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと					
<p>学園目標は「世の光となろう～Be a Light to the World～」です。自分だけ良ければよいという考え方は一切していません。『日本で世界で活躍する女性』を育てています。入試の段階で2コースあります。「本科コース」は従来からのグローバル教育を進化・深化させた通常のコースです。「グローバル留学コース」は高校1年時に1年間カナダに留学するコースです。1クラスに日本人2人とネイティブスピーカー1人の3人が正副クラス担任につき、数学や美術の一部では英語で授業が行われています。年に2～3回まわってくる感話(3分間スピーチ)は英語で行います。どちらのコースも中学2年末に12日間のボストン研修があります。</p>					
帰国生の卒業後の進路・進学状況について					
<p>内部推薦で昭和女子大学に1年早く進学したり、慶應・上智・立教など難関私大に進学しています。</p>					
留学制度や海外大学進学支援体制について					
<p>2019年9月には、米国ペンシルベニア州立テンブル大学ジャパンキャンパスが同敷地内に完成します。5修生制度(高校3年生から昭和女子大学の授業を受けることが可能となる)を利用し、昭和女子大学と、海外大学(上海交通大学、ソウル女子大学、テンブル大学)の同時卒業資格取得(ダブルディグリー)が可能となります。</p>					
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ					
<p>本校の入試は2教科または3教科の選択・面接で行われます。国語は様々な教科の基礎になる部分であり、本校ではとても大切にしています。また、算数では四則計算がしっかりできることも、中学校に入ってから必要なことです。そこで小学校6年生教科書レベルの「基本的な国語」「基本的な算数」を受験科目の必修にしました。英語が得意な受験生のために、選択で「英語」を受験教科に加えることが出来るようになっています。英語は英検2級から準2級レベルの問題を出題します。3教科で受けた場合は、国語・算数の200点満点の点数と、英語を加えた300点満点の点数を2/3にした点数を比べて、点数が高い方を本人の得点とします。従って、英語が悪くても不利になることはありませんので、是非とも3教科受験にチャレンジしてください。</p>					